



**Hewlett Packard
Enterprise**

Certified Data Center Professional <含認定試験>

データセンター・プロフェッショナル(CDCP)認定コース
(HK258S)

【CDCP資格とは】

CDCPは全世界で有効な、データセンターのファシリティについての知識を有することを証明するベンダーに依存しない資格です。データセンター関連業務に携わる者が持つ基本資格として、アジアを中心に世界中で広く知られています。
スキル標準ユーザー協会によって研修と資格の有用性が認められており、ITスキル標準のスキルマップにも記載されています。
日本においては当社の研修でのみ取得可能です。

有効期限は、3年です。期限切れの期日は、認定証の下の方に記載されます。
なお、有効期間内にCDCP再試験を受験して合格するか、上位資格であるCDCSを受講および受験して合格することで資格を更新できます。
更新すると、有効期間は3年間延長されます。

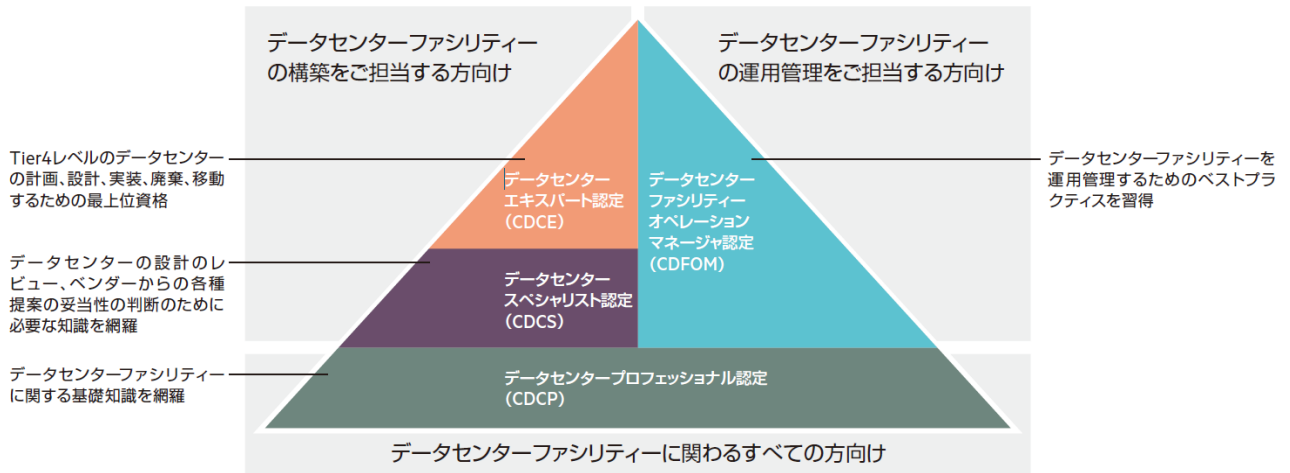
コース概要	<p>このコースでは、データセンターのファシリティ(施設)について、その基礎知識と用語を学習します。</p> <p>電源、空調、セキュリティ、立地と建物、SLAとOLA、消防設備など、データセンターの施設を設計/運用/管理する際に避けて通れない項目を分かりやすく解説します。</p> <p>データセンターだけでなく、企業内外の小規模～大規模サーバールームの管理/運用業務にも必須の内容です。</p> <p>コース最終日には、データセンター・プロフェッショナル認定試験を実施します。合格すると、CDCP : Certified Data Center Professional資格を得ることができます。</p>
対象者	<ul style="list-style-type: none">・ 企業内外の小規模～大規模サーバールームの設計/管理/運用を担当される方・ データセンターの省エネルギー化推進を担当される方・ データセンター関連サービスの営業を担当される方・ サーバルームの電源、熱、空調、消防対策、セキュリティ、クリーニングなどの問題に取り組むすべてのIT管理者の方
前提知識	コンピュータの基礎知識を有する方
コースの目的	<p>このコースを修了すると以下の知識が習得できます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ データセンターの構成要素を理解し、ダウンタイムの原因を説明する・ データセンターの規格を説明する・ データセンターの立地条件や設備/建物を選択するための基準を説明する・ フリーアクセスフロアの規格と概念、ガイドラインを説明する・ 吊り天井を使う理由を説明する・ 照明の測定法や規格を理解し、照明器具の接続方法と配置を説明する・ 電力設備に関する用語や課題を全て理解し、説明する・ 電磁界の発生源と削減方法、規格を説明する・ 冷却(空調)設備に関する用語や課題を全て理解し、説明する
日数(開始時間～終了時間)	2日間(10:00～18:00)
受講料	145,000(税抜)

Certified Data Center Professional <含認定試験>

コース内容

1. データセンターの重要性
2. データセンターにおける規格
3. データセンターの建物立地条件と構造
4. フリーアクセスフロアと吊り天井
5. 照明装置
6. 電力設備
7. 電磁界 (EMF)
8. 冷却 (空調)
9. 給水設備
10. 拡張性のあるネットワーク基盤デザイン
11. 消防対策と安全性
13. セキュリティシステムとオペレーションにおけるセキュリティと安全性
14. ラベル付けの方式
15. ドキュメント/マニュアル
16. クリーニング (清掃)
17. MTBF/MTTR/MTTF
18. SLA、OLA、メンテナンス契約
19. CDCP 試験対策
20. CDCP 認定試験

データセンターファシリティ認定資格体系



コースフロー



コースの改善、品質向上のため、内容は予告無く変更されることがあります。

お問い合わせ・お申込はHPE教育サービス受付へ

0120-929176 月～金 9:00～12:00/13:00～17:00(土・日、祝祭日、年末年始および5/1を除く)

dl1.cec@hpe.com (e-mail)

HPE教育サービスの詳細は、<http://www.hpe.com/jp/education>